ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 2 週間 Day 1.....15(=Day1)
サイラムザ	8 mg/kg	↓
イリノテカン	150 mg/m ²	↓
レボホリナート	200 mg/m ²	↓
フルオロウラシル bolus	400 mg/m ²	↓
フルオロウラシル 持続	2400 mg/m ²	↓ 1 日目から 46 時間持続投与

レジメンオーダー以外に必要な処方等

サイラムザ: 尿タンパク測定

必要時 (制吐剤予防投与): day2~: デキサメタゾン (デカドロン) 4~8mg 1×朝 2日間 内服

注意事項 イリノテカンとレボホリナートは同時開始ですが、点滴時間が違いますのでご注意ください。

サイラムザ初回および8週以上あいた時: 心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要 (詳細は投与方法の項を参照)

サイラムザ: 室温保存では調製 4 時間以内に使用、すぐに使用しない場合は冷蔵庫で保存すること

下記のフィルター付き輸液セット使用 (ニプロフィルターセット STFPG-20BRCG)

投与方法: 1 日目~	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、メインルートを止める
2	ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ポララミン 1A、 生食 30 mL 5 分以上かけて、下の側管から投与
3	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、下の側管から投与
4	生食 50mL 15 分かけて 下の側管から投与
5	フィルター付き輸液セット使用 サイラムザ _____ mg、生食、全量 250 mL 60 分かけて、下の側管から投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター _____ 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後: BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後: 全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
6	生食 50mL 下の側管から ゆっくりルートキープ、15 分間投与 (残破棄可)
7	レボホリナート _____ mg、生食 500mL _____ イリノテカン _____ mg、生食 250mL 120 分 かけて点滴、 イリノテカンと同時に開始 、下の側管から投与 90 分 かけて点滴、 レボホリナートと同時に開始 、 ケモセーフロックのルートから投与 (イリノテカンは 90 分投与のため、先に終わります)
8	フルオロウラシル _____ mg、生食 40mL _____ 全開で投与、ケモセーフロックのルートから投与
9	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄
10	フルオロウラシル _____ mg、生食、全量 210mL 5 mL/時、46 時間かけて ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与